（一）　第三百八號　（日曜水）　報民きわい　刊夕　昭和二十二年五月七日　昭和二十一年六月一日（第三種郵便物認可）

いわき民報

發行所　いわき民報社
平市田町一番地電話三八一番
編輯兼發行人　千輝克己
印刷人　千輝克己
日刊　但月曜日を除く
定價一ヶ月八円　一部四十錢

勞働基準所を開設
四課構成で七月から

七月に實施を豫定されている勞働基準法の施行にともなつて平公共職業安定所にも新たに勞働基準平支所が設けられることに決定、目下開設準備をいそいでいる、全所の構成は庶務、監督、安全衛生、鑛山、給與の四課からなり勞務者の物資配給等は今後一切こゝで行はれることになるわけである

農業技術研修に
濱三郡技術員連盟
考査委員會を設置

石城、双葉、相馬三郡下の技術員が一丸となり農業郡はま三郡を目ざして農業技術研修を行うことになり五日午前十時から農業石城支部樓上に技術員連盟濱三郡技術考査委員會設置準備委員會を開いた、同委員會は技術考査委員選任をはじめ農業技術研修に大車輪をつづけるもので各方面から多大の期待をかけられている、なお考査委員長は石城支部の村井忠氏に決定した

正副議長とも再選か
小名濱新町會

小名濱町では初町會を八日頃召集、助役の推薦並に正副議長、選擧等を行う豫定でいるが助役には前助役長瀬國之助氏に落ちつくものと見られ、正副議長は議長に立花秀吉氏、副議長に長瀬彰義兩氏の就任の前期間の餘りに短かかりしにかんがみ再選となる模樣であるただ副議長としては長瀬氏のかはりに馬上喜一、佐藤政治の兩氏などの噂もされている

今一息で完遂
一割超過供米未了は三ヶ村

郡下の一割超過供米は渡部地方事務所長が廳訪こん請したのと强權發動の氣構えを見せたゝめ漸次成績があがり五日現在では大野、飯野大浦の三ヶ村を殘し全部完遂をみた、殘る未完遂農村も八九日頃には突波の見込

瀧澤君優勝
平將棋互樂會主催方四十四回大會は去る四日市内五丁目の會所に開催、盛況を極めたが當日の成績は左の通りで瀧澤幸男氏が優勝した

△A組優勝瀧澤幸男（七級）2星源吾（三級）3吉畑定次郎（三級）4根本政市（九級）

△B組渡邊美代志（八級）3吉田昇（二段）2淺野清藏（六級）小林忠男（十級）

早くも赤信號
用水に惱む愛谷江筋

郡下のなわ代まきつけはこゝ二、三日に完了目下各町村ともかんがいに大童となつているが、はやくも愛谷江筋關係の平、飯野、高久の一部と夏井の二百八十九町、豐間の八十五町二反はかけ水に惱まされ赤信號を發している、これは愛谷江筋の水利工事が進渉はしているものゝあまり想はしくない結果で早急の完工なき限り稻作に大影響を及ぼすわけで當局の緊急策が要望されている

婦人警官の配屬きまる
平署では

去る三月二十五日配屬された初の婦人警察官六名に對しては實地訓練のため所屬を定めずに置いたが、いよ／＼一通り終つたので六日それ／＼司法室及び公安課へ各二名ずつ行政警察課と經濟課へ各一名ずつ配置した

野菜市場增設
市が平局横空地に

市では野菜難緩和と市民の利便をはかるため昨年來元市役所跡に野菜の直賣所を設置したが、非常な好評を拍し成績も極めて良好なのにかんがみ更に四丁目平郵便局横の空地に約二十坪バラック建市場を建設、第二直賣所を開設の計畫を樹立、縣と折衝中のところ既にその了解も得たので夏井、神谷、飯野等々近接町村に呼びかけて、改選後の市會に承認を求め急速に着工し五月中旬までには開設の計劃で逸早く勸業課では諸準備を急いでいる

炭協青幹事會
炭協、青年部幹事會は六日午前十時から常陽銀行樓上に開き資金問題其の他を協議

乙女の湖
上映中　第二イワキ
神ぴなる湖面の限りなく美しい青春の夢と愛としの物語

平營林署も山神祭執行
平營林署では七日午前十一時から新綠の夏井川溪谷上小川村枝蛇山で山神祭を執行、事業の隆昌と勞務者の安泰を祈る

いわき寸言

◎苗代用水に早くも赤信號發せらる、むぎ作不良を傳える際又惱みを一つ增す

◎社會黨第一黨はとつたがさて困つた、子供がもちつけぬ大金を與えられた態か

◎政權がどこの黨にいつてもいゝ、ただ生活の安定を與えることが專一

英語夜間教授
小名濱町榮町二
英語補導會　平澤尚夫

くろがね
ダイハツ純正部分品
特約販賣店
ダットサン・マツダ部分品
各種タイヤー修理
小型蓄電池販賣
電氣並酸素鎔接工業
合資會社　千葉タイヤー商會
平市新川町（電七八番）

常磐炭田遂に赤字

選擧に祟られた四月の出炭

常磐炭田四月の出炭成績は選擧に明けて選擧に暮れるといつた選擧つづき、殊に縣議戰、町村議戰に勞組自体から出馬するなどですつかり祟られた上に山神祭や相も變らぬ資材不足のため終戰以來黑字に黑字を重ね九州、北海道を尻目に、日本産業の再建は常磐炭田からの誇りを高くかかげていたのにもかゝはらず今月のみは遂に目標二十三萬二千トンに對して二十萬七千七百八十三トンという實績で二萬四千二百十七トンの赤字を出してしまつた

各鑛別の成績

出超は兩三日内を通じ僅に七鑛のさびしさ

管内別にみると東北管内は常磐磐崎坑と日曹福島、三松の三鑛が黑字のみでその他は赤字殊に主力鑛まで赤字がひびいて十六萬六千トンに對し十五萬一千三百五十六トンで、で一萬四千六百四トンの赤字又東部管内（茨城）も關本高萩、山一、上田鑛の十九トンの黑字ばかりで目標六萬六千四百トンに對し五萬六千四百四十七トンとあつて九千九百五十三トンの赤字となつている、なお各鑛別の成績は左の通り

㊟東北管内　常磐湯本九、二九六（九、七〇〇）四〇六、同内郷七、一六六（七、九〇〇）七四三、同磐崎二、九一三（二、九〇〇）古河、好間八、〇八九（八、三〇〇）二一大日本勿來一、九一二（四、八〇〇）八八八小田一、三六七（一、八〇〇）四三三隅田川一、一九二（一、三〇〇）一〇八矢郷五六三（六〇〇）つた、第一中學校長は三七磐三七六（三五〇）戸部五七〇（五〇〇）上山田六八八（一、二〇〇）五一二日曹赤井一、二三六（一、五五〇）三一四、同福島四一三（四〇〇〇）三松四三六（四〇〇）品川黑田四八五（六〇〇）一一五小野田六〇〇（八〇〇）二〇〇三和六一（五二〇）三九田川一、三七三（二、七〇〇）一、三三七

㊟東部管内　中郷二六八三（二七五〇）六七神の山八五六（一、四〇〇）五四四磯原五三四（六〇〇）六、高萩五一八三（五〇五〇）くし形一六二〇（一九〇〇）二八〇棗内、六六〇（二、二〇〇）五四〇山口一四〇九（一五〇〇）九一山一〇四七（九五〇）上田五四七（四五〇）常磐合同一、八五〇（二、〇〇〇）一五〇關本七六九（七五〇）一九

内郷中學開校

第一中は高坂校に二中は常磐青校に

内郷町では新制中學校が又第二校長には前内を二校設けることゝなり先づ第一中學校は高量太郎氏が任命された郷家政青年學校長高木坂小學校に設置、二十なお第一中は十八學級七日入學式を擧げ、今五日學區内有志、地方事務所關係官の臨席を得て盛大な開校式を擧行した、第二中學校は常磐炭鑛青年校を改築して開校するが、改築完了まで第一中學で二部教授を行うことゝなつた、第一中學校長は前平高女田子泰作教官十三名、第二中は十學級の教官八名だが完成年度には第三中學校の建設をなす豫定で早くも計劃が進められている

縣案解決に協力

新町議連懇談

商港の實現舊玉川の分村問題を始め新學制に基く教育問題等々小名濱町の前途には幾多重要案件が山積しているので、全町新町議連は町のため一日も早く協力一致解決に乘出し新町會の責務を果そうと近く全町議懇談會を開催することになつた

市の麥作不良

實態調査結果

市勸業課では今度大小麥の實態調査を行つたが播種期の降雨量が多かつたので一休に發育面積六十四町中二八一町歩中良が僅か二十七町歩中良が僅かに去る二十セントが良好、普通が三十八パーセントで殘る六十八パーセントが一方小麥も同樣作付面積十七町歩中良が僅か二パーセントその他は不良という狀態にある依つて全課では今後の肥培管理に全力を注ぎ挽回せしめようと各農事實行組合に飛げき、萬全の注意を促すことになつた

目的種類　營業
造船製造　一般製造
堰堤球場　球場電燈　製氷及用電用　硝子用照明　鑛山用特殊　一般球
平硝子製作所
平市田町　電話平町　26番
平市外新川　新島町　30番
平市　平　455　552　1428　392　1778　82
本第一工場　第二工場

阿康の銀座街へ
家庭醫藥品の御用は——
ア
コウ
平市田町　4番

募集　店員
婦人給仕
茶房　ビヤホール
喫茶　エス
本町
湯本

キモノと洋服
最高價買入
平驛前白銀通り　福屋
（記念通帳と印鑑御持參下さい）

かざりや
裝身具製作
平市佃町一〇　新川通り　關内
㊟五月人形上物揃賣物有ります